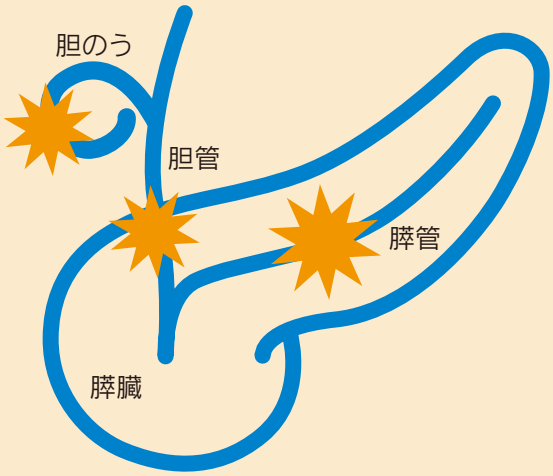
近年増加傾向にある膵臓がん

膵臓がんドック

膵臓がんは初期症状がほとんどなく
発見が難しい大変恐ろしい病気です

膵臓がんから身体を守るためには、定期的な検査を受けて膵臓がんを早期に発見し治療することがとても重要です。
当院は、膵臓がん発見に最適な検査項目を選択し、通常の人間ドックより精密にチェックできる「膵臓がんドック」をご用意しました。



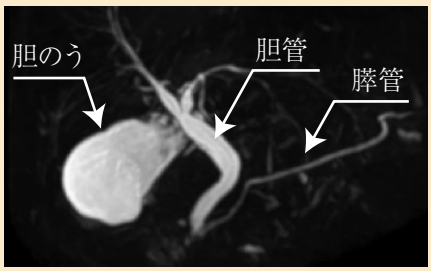
膵臓がんの発生リスクチェック

- ☐ 喫煙する
- ☐ お酒を多く飲む
- ☐ 食生活が不規則である
- ☐ 糖尿病である
- ☐ 膵臓の病気（慢性膵炎）にかかったことがある
- ☐ 胃のあたりや背中が重苦しい
- ☐ なんとなくお腹の調子がよくない
- ☐ 食欲がない
- ☐ 体重が減少する
- ☐ 身体や白目が黄色味をおびる
- ☐ 尿の色が濃くなる　など

検査内容

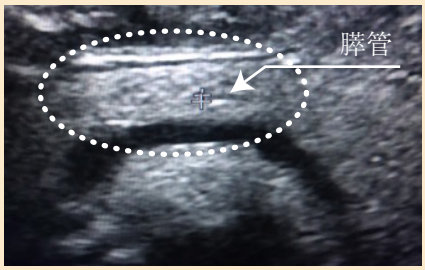
①ＭＲＣＰ
（磁気共鳴胆管膵管撮影）

MRI装置を使用し、膵臓、胆道を鮮明に写し出すことが可能で、病変の確認に適した検査です。



②腹部超音波検査

超音波で、腹部の臓器をチェックする検査です。特に膵臓を中心に検査します。



③血液検査

膵臓がんを疑う場合に実施する血液検査（主に腫瘍マーカー）を実施します。

④結果説明

消化器科専門医より結果説明を行います。
※全ての結果が揃うまで、約1週間を要しますので、結果説明は受診日より1週間後以降に実施します。

料金…¥52,800（税込）



この「膵臓がんドック」は、富山大学附属病院「膵臓・胆道センター」との連携によるもので、同センター長で膵臓がん治療の日本の第一人者である藤井努教授及び同副センター長の第三内科安田一朗教授の考案された検査内容です。

富山大学大学院医学薬学研究部消化器・腫瘍・総合外科
藤井　努 教授
日本膵臓学会評議員・指導医
膵癌診療ガイドライン改訂委員
膵癌取り扱い規約検討委員

お申し込み
お問合せは
医療法人社団 藤聖会 富山西総合病院　〒939-2716 富山市婦中町下轡田1019
健診センター　tel.076-461-7700　https://toyama-nishi.jp